

TICAD, SDGsよりも大切なもの ＜「アジェンダ2063」の重要性＞

市民ネットワーク for TICAD

世話人 稲場 雅紀



(自己紹介)市民ネットワークfor TICAD アフリカと日本のNGOの架け橋を目指して

★日本側：市民ネットワーク for TICAD (Afri-Can)

◎TICAD Vの総括を踏まえ、2014年3月結成。



- ミッション：TICADが真にアフリカの人々にとって役立つものとなること。
- ビジョン：そのために政策提言や、アフリカ市民社会、TICAD共催団体や関係機関等との協力・連携を行う。
- 歴史と実績：93年のTICAD I以降、TICADへの働きかけを行う日本のNGOネットワークは常に存在。2009年以降の全てのTICADの公式会議に出席、TICADに日本・アフリカの市民の声を伝えてきた。

★アフリカ側：アフリカ市民協議会 (CCfA)

◎2007年に発足、TICAD IV(2008年)以降のTICAD閣僚会議に参加。

- 2009年以来、アフリカの市民社会を代表してすべてのTICAD公式会議に出席、発言。
- 大陸5地域(東西南北中)の代表や分野別NGOネットワークの代表等で構成。2014年、新執行部を選出。
- アフリカ開催のTICAD VIIに向けて、アフリカ連合委員会(AUC)や開催国であるケニア政府等とも連携、よりよいTICADに向けて前進。

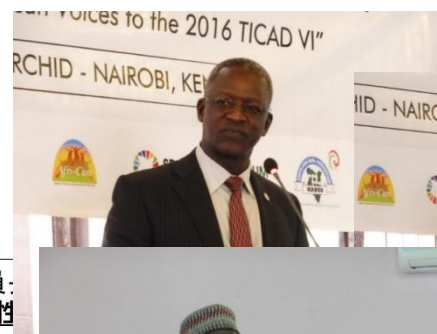
アフリカを「正しく」 理解しよう



田舎町のバスターミナルにあふれかえる日本車



モザンビークを經由して欧州に渡った天正遣欧少年使節



市民社会集会に参加したケニアのTICAD特使、アフリカ連合の官僚、独裁国ガンビアで人権を説くNGO

TICAD V (2013年)からTICAD VI (2016年) 幻想から現実へ

2013年

★「希望と機会の大陸」

◆ 2013年TICAD Vのスローガン。「アフリカ＝最後の成長フロンティア」の幻想



経済
停滞

エボラ
ウイルス
病

テロリ
ズム

2016年

主要テーマ

「産業化」「保健」「社会の安定」

一方で、「アフリカ50年の
大計」が示される。



アフリカ連合50周年を
記念して作成された「ア
ジェンダ2063」

7つのアスピレーション

1. 包摂的成長と持続可能な開発に基づいた繁栄するアフリカ
2. パン・アフリカニズムの理想と「アフリカの復興」のビジョンを基礎とする、政治的に団結し、統合された大陸
3. 「良い統治」、民主主義、人権の尊重、正義と法の支配に貫かれたアフリカ
4. 平和で安全なアフリカ
5. 力強い文化的アイデンティティ、共通の遺産、価値、倫理を持つアフリカ
6. アフリカの人々が開発を主導し、子どもたちをケアし、人々の潜在能力、特に女性と若者に信を置くアフリカ
7. 強く、団結し、強靱で影響力のある、地球規模のプレイヤーにしてパートナーでもあるアフリカ

アフリカの課題:「公正さ」を 現実のものにできるか

◆「不公正」は15世紀の「地理上の発見」時代 以来のアフリカの宿痾

- 奴隷貿易、植民地支配、冷戦と新植民地主義
- 構造調整政策とグローバリズム
- 「ミレニアム開発目標」(MDGs)で見えてきた新しいパラダイム⇒「SDGs」時代にどう変わるのか？

経済統合
と自立

女性・若
者の社会
進出

若者人口
増をメリッ
トにできる
か

資源狙い
の経済進
出

土地収奪
と地場産
業破壊

ガバナン
スの改善

紛争の未
然防止

分配メカ
ニズムの
不在

自然破壊
と気候変
動

公正さ＝(本来の)SDGs＝アジェンダ2063＝アフリカ自身のための開発



日本が活躍できるアフリカ＝「公正なアフリカ」 TICADはその基盤を作るための仕組み

■ 日本の強み＝「公正さ」

- 良い製品（特に中古車：多くの国で5割以上のシェア。日本車は日本の良いイメージに最大貢献）
- 「負の歴史」的關係が相対的に少ない
- アフリカ支配層との腐敗した關係が少ない
- 規模は小さいが現場に密着した、人々に評判の良い援助
- アフリカそれ自体に興味を持つ日本人の多さ

■ 欧米・インド・中国の「強み」と真逆

- 欧米の強み：不公正の果ての「植民地利権」
- インドの強み：東・南アフリカのインド人商人
- 中国の強み：海外渡航意欲盛んな膨大な人口の存在、非同盟外交と軍事援助で培ったアフリカ指導者層との連携、欧米と対抗的な援助手法⇒これらをベースに「不公正な關係」を発展させる

■ アフリカで日本が積極的に展開するためには、アフリカがより公正で透明性の高い地域になる必要がある（不公正、不透明、利権に阻まれている）

アフリカに向けた 日本の可能性



広がる女性・若者の進
出とアントレプレナー
シップの促進:



最も重要なのは
「人への投資」(理数
科に限らず)



相互協力: アフリカは
日本の若者を鍛える
のに最適な場所





<プレゼン作成>

市民ネットワーク for TICAD

稲場 雅紀

メール: masaki.inaba@gmail.com

電話: 03-3834-6902 (アフリカ日本協議会)